

日 時 3月23日(金) / 12:30 - 13:20

会 場 京都女子大学 B19会場 (B校舎 4F B420)

ヒト多能性幹細胞から作製されるモデル細胞 —神経変性疾患モデルと心筋モデル—

座長 中辻 憲夫 先生

京都大学 物質一細胞統合システム拠点 拠点長
再生医科学研究所 発生分化研究分野 教授

演者 饗庭 一博 先生

京都大学 物質一細胞統合システム拠点



Helping all people
live healthy lives

疾患モデル動物(主にげっ歯類)は、これまでに多くの重要な知見をもたらしてきたが、ヒトとげっ歯類という種による相違から、ヒト疾患を正確に模倣できていないなどの限界がある。また、心臓への薬の副作用が、新薬として承認された後に明らかになることもある。このことは既存の心毒性アッセイではその副作用を検出できていなかったことを示している。

ヒトES細胞やヒトiPS細胞などのヒト多能性幹細胞から得られる分化細胞は、ヒト細胞であるためヒトでの反応を模倣でき、また分化細胞が多量に供給可能ためハイスクープトアッセイの構築も可能である。そのため、疾患発症機序研究及び創薬の初期研究での最適なモデル細胞として、疾患モデル細胞や心毒性アッセイへの活用が進められてきている。

本セミナーでは、我々が確立した部位特異的遺伝子導入法を用いたヒト多能性幹細胞由来の神経変性疾患モデル細胞と心筋モデル細胞について報告したい。

※整理券は12時25分を過ぎると無効になります。午前のプログラムは12時5分に終了予定です。整理券をお持ちの方は、セッション5分前の12時25分までにご来場ください。12時25分までにご来場されない場合には、整理券は無効となり、整理券をお持ちでないセミナー参加者にご提供いたしますことをご了承ください。